

自治研レポート・論文 募集中

自治体行政への政策提言や実践活動、市民参画による政策実現や公共サービス事業運営の試み、コミュニティづくりの実践や市民ワークショップなど、地方自治・住民自治に関するレポートおよび論文を募集しています。自治体職員、地域公共サービス関係者、市民、地域の研究者など、どなたでも応募できます。

※応募作品は自治研ウェブサイトに掲載いたします。

※応募作品は返却いたしません。

●応募方法

レポート・論文の提出の際は、指定用紙「レポート・論文等報告用紙」（自治研ウェブサイトからダウンロード）を必ずご使用ください。自治労組合員の場合は、所属の単組・県本部を経由し、データにてお送りください。組合員でない方は、最寄りの自治労県本部または下記の送付先へお送りください。

【送付先】 自治労本部・総合政治政策局 自治研事務局
jichiken-report@jichiro.gr.jp

●応募締切

一次締切：7月12日（金）

最終締切：8月9日（金）【厳守】

●レポート

レポートは、テキスト形式、パワーポイントなどを使用したスライド形式、動画形式のいずれでも構いません。

<レポート提出にあたっての注意点>

- ①冒頭に「自主レポート」と明記し、末尾欄には提出者の名前、所属、連絡先などを明記してください（連絡先は公開しません）。
- ②ボリューム：テキストの場合は6,000字程度（横書き）、図表資料などを含め1万字以内。スライド（アニメ・動画の埋め込み不可）の場合は20枚以内。動画は10分以内（横位置）。

●論文

エッセイや研究報告、実践報告など形式は問いません。

<論文提出にあたっての注意点>

- ①冒頭に「論文」と明記し、末尾欄には提出者の名前、所属、連絡先などを明記してください（連絡先は公開しません）。
- ②字数：8,000字程度（横書き）、図表資料などを含め1万字以内。

●地方自治研究賞

応募作品は第17回地方自治研究賞の審査・選考の対象とし、優れた作品は以下のとおり、しまね自治研・全体会にて表彰します。

- | | |
|----------------|----------------|
| ①自治研活動部門 | ②自治研究論文部門 |
| 優秀賞 1点（副賞20万円） | 優秀賞 1点（副賞10万円） |
| 奨励賞 若干（副賞5万円） | 奨励賞 若干（副賞5万円） |

ポスターセッションでも!

しまね自治研・全体会ではレポートをもとにしたポスターセッションを行います。応募の際は、ポスターセッションへの参加の有無について明記をお願いします。

しまね自治研で「自治研」を実践!

フードロスのない集会運営にご協力ください

12 つくる責任 つかう責任



しまね自治研では、フードロスを生み出さない集会運営に取り組みます。お弁当を注文される方は、フードロスの発生を最小限に抑えるため、「注文したら食べる」意識の共有をお願いいたします。どんなに準備を尽くしても、それでもフードロスが出てしまうかもしれません。その問題解決のため、しまね自治研では「食べてくれるボランティア」を募集しようと、現地実行委員会とともに準備を進めています。

フードロスの削減は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標12「つくる責任・つかう責任」に直接貢献するだけでなく、他の多くのSDGsゴールにも間接的に貢献する取り組みです。

「月刊自治研」パネル展



創刊から55年を迎えた自治研の情報誌「月刊自治研」。その長い歴史の中では、公共サービス現場を取り巻くさまざまな課題を取り上げ、たくさんの方々が登場しました。「月刊自治研」の歴史とともに、公共サービスの現場がたどってきた軌跡を、パネル展を通して振り返ります。1961年に刊行された「新版 自治研のてびき」も実物をご覧ください。

しまね自治研はお子様連れでご参加いただけます



しまね自治研は全日程を通して、お子様連れでご参加いただけます。集会開催期間中は託児施設にてお子様をお預かりいたしますので、ご希望の方は、お申し込み時にお子様の情報をご登録ください。料金・託児内容等につきましては、改めて実行委員会よりご案内します。しまね自治研では、公共サービスを担う次世代の育成にも取り組み、地域のために働くことの楽しさを伝えられるようなイベントを企画しています。

参加方法

自治労組合員の方は
所属する組合を通じてお申し込みください。

一般の方は、自治研ホームページから
お申し込みください。

<https://www.jichiro.gr.jp/jichiken/>

お問い合わせ先

第40回地方自治研究全国集会

島根実行委員会（自治労島根県本部）

〒690-0874 島根県松江市中原町14番地 しまね自治労会館内

TEL 0852-26-3331

Facebook <https://www.facebook.com/JichiroJichiken/>

第40回地方自治研究全国集会

しまね自治研



出雲大社 神楽殿

2024年10月4日（金）・5日（土）

会場：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）ほか

創ろう、市民自治のゆたかな社会
結びつなげる!しまね自治研

新たな自治研へむけて

10/4 自治研セッション「1%の仕事から考える。課題が価値に変わるとき」

働き方研究者 西村 佳哲さん
立教大学 准教授 藤井 誠一郎さん
自治労東大阪市労働組合 前田 真さん



西村 佳哲さん 藤井 誠一郎さん 前田 真さん

ポスターセッション

しまね自治研に寄せられたレポートをもとに、
会場内でポスターセッションを実施。
全国各地の自治体の取り組み、実践を直接聞くことができます。

10/5 分科会

主催 自治研中央推進委員会／自治研島根実行委員会

後援 島根県、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町、島根県市長会、島根県町村会、連合島根、平和フォーラムしまね

くわしくは
自治研ホームページで

自治研

開催プログラム

参加費 10,000円

※分科会によっては、別途参加実費(弁当代・交通費)が必要となりますので、詳細については開催募集要項でご確認ください。
(開催募集要項は自治研ウェブサイトダウンロードできます)

初日 全体集会

2024年10月4日(金) 10:00~17:00

会場:くにびきメッセ「大展示場」

10:00 ~ 11:45

開会あいさつ／自治研賞発表・表彰・講評
基調提起



さだ須佐太鼓

11:45 ~ 12:45

昼食休憩

12:45 ~ 16:00

オープニングアトラクション「さだ須佐太鼓」
自治研セッション「1%の仕事から考える。課題が価値が変わるとき」

私たちが毎日使うトイレの汚水は公共下水道を通じて、下水処理施設で処理されます。浄化槽、くみとり式トイレのし尿(汚泥)はバキューム車によって収集運搬され、し尿処理場へ運ばれます。下水処理施設の整備が進み、水洗トイレが普及したことで「くみとりの仕事」は減少し続けてきました。

一方で、災害などによりインフラがダメージを受けることで、水洗トイレが長期にわたって使用できなくなるという、新たな課題も生まれています。また、多くの自治体では、災害時のトイレ対策(啓発、処理体制の確保、廃棄物の適正な処理等)の備えが不十分であることも指摘されています。

時代とともに変容する「くみとり」という公共サービスを題材に、「はたらく」「つなぐ」「自治」をキーワードに、自治研だからできる課題の乗り越え方を、セッション形式でみなさんとともに考えます。

<登壇者>



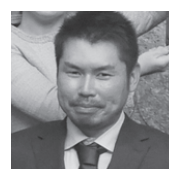
働き方研究者 西村 佳哲さん

1964年、東京生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒。リビングワールド代表。プランニング・ディレクター。つくる・書く・教える、大きく3種類の仕事を手がけている。2015~21年は徳島県神山町に移住。町役場と一般社団法人神山つなぐ公社を設立し創生戦略の立案および実施に注力。2022年から東京に暮らしを戻し、現在はいくつかの企業の伴走支援や、ワークショップの実施、本の執筆などを行っている。https://livingworld.net/nish/



立教大学 コミュニティ福祉学部 准教授 藤井 誠一郎さん

1970年、広島県福山市生まれ。同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程修了。博士(政策科学)。同志社大学総合政策科学研究科嘱託講師、大東文化大学法学部准教授などを経て現職。専門は地方自治、行政学、行政苦情救済。自治労結成60周年記念事業として2015年に実施した「自治労・次世代を担う研究者」育成制度への採用を機に清掃業務の研究を始める。「ごみ収集という仕事:清掃車に乗って考えた地方自治」「ごみ収集とまちづくり:清掃の現場から考える地方自治」など著書多数。



自治労東大阪市労働組合 前田 真さん

1987年、大阪府東大阪市生まれ。2011年に東大阪市の一般家庭ごみ委託業者に就職、2015年に(公財)東大阪市公園環境協会に転職し、環境事業課(し尿)に配属となる。近年、都市部を中心に水洗トイレの普及率が99%を越え、それに伴いし尿収集業務が合理化・縮小すると考えていたが、過去の災害現場での教訓から「災害時にこそし尿収集業務が必要」と考えるようになる。2017年に防災士を取得し、さらなる専門知識を得るためNPO法人日本トイレ研究所の研究会員となり、防災トイレアドバイザーを取得する。次世代の汲み取り業務の確立にむけた取り組みを日本トイレ研究所に評価され、「第4回日本トイレ大賞」を受賞する。2023年から啓発事業(防災出前講座等)を展開中。

16:00 ~ 17:00

ポスターセッション

しまね自治研に寄せられたレポートをもとに、会場内でポスターセッションを実施。参加者同士の交流を促すとともに、実践交流の場とします。

2日目 テーマ別分科会

2024年10月5日(土) 9:00~16:00

会場:松江市「くにびきメッセ」ほか、浜田市、大田市

分科会テーマ

第1分科会

ようこそ島根へ ~自治研入門リターンズ~

島根のまちを歩きながら、自治研活動や地方自治を学ぼう

会場:松江市「ホテル白鳥」

第2分科会

地方を変える、AIの力

自治体でのAI活用について懸念点や留意点を含めて理解を深める

第3分科会

公務職場を魅力あるものにするために

これからの、人材育成、職場のあり方、働きがいについて考える

第4分科会

もう知らないでは済まされない LGBTQ+【実践編】

LGBTQ+の理解を深め、具体的にどう行動すればいいかを学びます

第5分科会

いのちを守る防災・減災計画

~震度7・その時あなたは~

『私が原発を止めた理由』著者の樋口英明さんと、防災・減災の実践を議論

第6分科会

地域公共交通の現状と課題

~交通弱者をつくらないまちづくり~

先進的事例から地域での移動の確保を考えよう!

第7分科会

中山間地域の地域づくり

循環型農村社会をめざして、地域づくりを未来志向で考え話し合う

会場:浜田市「石央文化ホール」

[全体会
サテライト会場]

開催県本部 特別分科会

世界遺産の町で学ぶ歴史と暮らし

石見銀山最盛期の人々の暮らしを学び、現代の暮らしを考える

会場:大田市「石見銀山世界遺産センター」

本部 特別分科会

地域から考えるカーボンニュートラル

自治体職員として「2050年目標」にどう取り組むのか考える

※第1分科会と開催県本部特別分科会は参加申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。